

編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
104-26	高等学校	商業	管理会計	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教 科 書 名		
7 実教	商業 746	管理会計		

1. 編修の基本方針

- ① 幅広い知識と教養を身に付ける観点から、学習事項への興味・関心の喚起、個々の学習事項の確実な理解、幅広い知識教養のために、適宜囲み記事を設けた。
- ② 自主及び自立の精神を養う観点から、各章末に練習問題を設け、個々の学習事項の確実な理解を図れるようにした。
- ③ 学習要素や例題の解説などではイラストや図解を用い、学習者が具体的にイメージしやすいよう配慮した。
- ④ 正義と責任を重んずるという観点から、管理会計と原価計算の関係に関する解説で、原価計算基準と管理会計との関係を記述した。
- ⑤ 職業及び生活との関連という観点から、製造業の経営活動に関する用語等について、吹き出しを用いて適宜解説した。

2. 対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
「まえがき」以下、本書全体	・伝統と文化を尊重し、国際社会の発展に寄与するという観点から、簿記が歴史的技術であることにふれ、本書で学ぶ管理会計が経営目的達成のために必要な計画と統制活動を支援することを記述した（第5号）。	p. 2 p. 5～185
第1編	<ul style="list-style-type: none"> ・幅広い知識と教養を身に付ける観点から、管理会計に関する基礎的な内容を記述した（第1号）。 ・男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずるという観点から、協力して航海を行う内容を掲載した（第3号）。 ・職業及び生活との関連を重視するという観点から、図版を用いて、マネジメント・コントロール・システムの概要を説明している（第2号）。 	p. 5～58 p. 5 p. 10
第2編	<ul style="list-style-type: none"> ・幅広い知識と教養を身に付ける観点から、短期利益計画に関する基礎的な内容を記述した（第1号）。 ・男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずるという観点から、協力して航海を行う内容を掲載した（第3号）。 	p. 59～84 p. 59

第3編	<ul style="list-style-type: none"> ・幅広い知識と教養を身に付ける観点から、原価の企業予算に関する基礎的な内容を記述した（第1号）。 ・男女の平等，自他の敬愛と協力を重んずるという観点から，協力して航海を行う内容を掲載した（第3号）。 ・職業及び生活との関連を重視するという観点から，予算のフィードバックを図示し，イメージしやすくしている（第2号）。 	<p>p. 85～118</p> <p>p. 85</p> <p>p. 117</p>
第4編	<ul style="list-style-type: none"> ・幅広い知識と教養を身に付ける観点から，責任会計と業績評価について基礎的な内容を記述した（第1号）。 ・男女の平等，自他の敬愛と協力を重んずるという観点から，協力して航海を行う内容を掲載した（第3号）。 ・職業及び生活との関連を重視するという観点から，組織構造を図示している（第2号）。 	<p>p. 119～128</p> <p>p. 119</p> <p>p. 121, 122</p>
第5編	<ul style="list-style-type: none"> ・幅広い知識と教養を身に付ける観点から，経営意思決定に関する基礎的な内容を記述した（第1号）。 ・男女の平等，自他の敬愛と協力を重んずるという観点から，協力して航海を行う内容を掲載した（第3号）。 ・真理を求める態度を養うという観点から，タックスシールドがどのような理由から発生し，どのような効果があるかについても記述している（第1号）。 	<p>p. 129～154</p> <p>p. 129</p> <p>p. 144, 145</p>
第6編	<ul style="list-style-type: none"> ・幅広い知識と教養を身に付ける観点から，コスト・マネジメントに関する基礎的な内容を記述した（第1号）。 ・男女の平等，自他の敬愛と協力を重んずるという観点から，協力して航海を行う内容を掲載した（第3号）。 ・幅広い知識と教養を身に付ける観点から，「新製品の開発プロセスと原価企画」，「ライフサイクル・コストニングのステップ」を図にして掲載した（第1号）。 	<p>p. 155～184</p> <p>p. 155</p> <p>p. 160, 179</p>

3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

- ① 豊かな人間性，創造性を養うという観点から，図解やイラストの吹き出しを使用し，視覚的な学習効果をはかった。また，UD フォントを用いて，すべての学習者が使いやすいように配慮している。
- ② 一般的な教養を高め，専門的な知識，技術及び技能を習得するという観点から，管理会計と経営管理，短期利益計画，企業予算，責任会計と業績評価，経営意思決定と管理会計，さらに，コスト・マネジメントまで丁寧に記述している。

編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表、配当授業時数表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
104-26	高等学校	商業	管理会計	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教 科 書 名		
7 実教	商業 746	管理会計		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

本書は、「管理会計」を履修する学習者のために、管理会計に関する知識と技術を習得させ、経営戦略の重要性について理解させるとともに、経営管理に必要な情報を活用する能力と態度を育てることを目的として編修した。この目的を効率よく達成できるようにするため、以下の点に配慮している。

- (1) 全体を「第1編 管理会計と経営管理」、「第2編 短期利益計画」、「第3編 企業予算」、「第4編 責任会計と業績評価」、「第5編 経営意思決定と管理会計」、「第6編 コスト・マネジメント」に分けて、編ごとにまとまりのある学習ができるようにした。
- (2) 管理会計の目的、直接原価計算など管理会計を支える基本的な考え方を学習したあと、毎期繰り返される短期の管理会計手続きを学び、さらに、設備投資の意思決定など長期の利益計画を学習するというように段階を追って学習できるよう構成している。
- (3) 生徒の間違いやすい箇所については、ていねいにわかりやすく記述するとともに、必要に応じて、吹き出しによるポイント解説や用語解説なども扱った。
- (4) 管理会計における考え方や会計手続きを、現実の企業経営にそくした事例やフローチャートなどの図表を用い学習の便利さを増し、かつ文章表現も簡潔にして理解しやすくなるよう努めた。
- (5) 本書は、例題を豊富に掲げ、練習問題を各章末に設けた。これにより、企業経営に接していない生徒にも模擬的に管理会計を実践できるようにしている。
- (6) イラストや図解を用いて視覚的にわかりやすく構成した。また、UD フォントを用いて、学習要素やその関連性がより分かりやすくなるように工夫した。

2. 対照表

図書の構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所	配当 時数
第1編 管理会計と経営管理 第1章 管理会計の意義と目的 第2章 管理会計と原価計算 第3章 標準原価計算 第4章 直接原価計算 第5章 直接標準原価計算	(1) 管理会計と経営管理 ア 管理会計の目的 イ 管理会計と原価計算 (5) コストマネジメント ア 標準原価計算 イ 直接標準原価計算	p.5～58	2 2 3 2 3
第2編 短期利益計画 第6章 短期利益計画と原価予測 第7章 CVP分析と損益分岐点 第8章 感度分析 第9章 最適セールス・ミックス の決定	(2) 短期利益計画 ア 原価予測の方法 イ 損益分岐分析と感度分 析 ウ 利益の最大化	p.59～84	6 6 6 6
第3編 企業予算 第10章 企業予算の編成 第11章 予算統制	(4) 予算編成と予算統制 ア 企業予算の編成 イ 予算統制の方法	p.85 ～118	1 2 1 0
第4編 責任会計と業績評価 第12章 組織構造と責任センタ ー 第13章 セグメント別業績評価	(3) 業績測定 ア 企業の組織構造 イ 業績測定の方法	p.119 ～128	3 3
第5編 経営意思決定と管理会計 第14章 経営意思決定の意義と タイプ 第15章 関連原価分析 第16章 設備投資の経済性計算	(6) 経営意思決定 ア 経営意思決定の概要 イ 業務的意思決定 ウ 構造的意決定	p.129 ～154	1 7 9

<p>第 6 編 コスト・マネジメント</p> <p>第 17 章 戦略的コスト・マネジメントの意義と手法</p> <p>第 18 章 目標原価計算</p> <p>第 19 章 活動基準原価計算</p> <p>第 20 章 品質原価計算</p> <p>第 21 章 ライフサイクル・コストリング</p>	<p>(5) コスト・マネジメント</p> <p>ウ 目標原価計算</p> <p>エ 活動基準原価計算</p> <p>オ 品質原価計算</p>	<p>p.155 ~184</p>	<p>8</p> <p>8</p> <p>8</p>
		<p>計</p>	<p>105</p>